

第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会（第25期・第22回）

議事要旨

1 日 時 令和5年3月7日（火）19:30～22:00

2 会 場 オンライン会議

3 参加者(敬称略)

分科会委員： 相澤彰子、秋葉澄伯、岡本尚、小松浩子、高井伸二、
高倉弘喜、中川晋一、糠塚康江、平井みどり、三嶋廣繁
(委員13名中10名出席)

オブザーバー： 加藤茂孝、喜連川優、小泉祐介、白井千香、杉山雄大、
舘田一博、丹下健、豊田正史、中村眞、芳賀猛、

講演者： 平田晃正、岡部信彦

事務局： 増子、山田、穴山

4 議 事

(1) 今後の分科会の活動について

見解案に関する科学的助言対応委員会からの助言について、秋葉委員長より報告があった。

助言に関連して、糠塚幹事から憲法と公衆衛生の関係について説明があった。
秋葉委員長より見解案の改訂箇所について説明があり、出席者の承認を得た。
厚労省との意見交換について、秋葉委員長より報告があった。

(2) 情報提供

「東京都における新規陽性者数長期プロジェクション」

平田晃正氏（名古屋工業大学先端医用物理・情報工学研究センターセンター長・教授）

《概要》・試算例の前提と限界

- ・ハイブリッド免疫について
- ・新規陽性者数予測（東京）
- ・結果からの分析
- ・東京：モニタリングとサーベイランス

①陽性率とDPCの関係に基づく概算(22/11/14資料の更新)

②新規陽性者数と救急搬送者

(3) 講演

「COVID-19 への対応 わが国の感染症対策について」

岡部信彦氏（川崎市健康安全研究所所長）

《概要》・2019年から2020年にかけてのCOVID-19関連の出来事

- ・WHO発表による地域別感染者、死者数
- ・日本国内の発生状況（発生動向、致死率、死亡者数、感染者等）
- ・オミクロン株に関する第8波における死亡者数増加に関する考察
- ・平均死亡率推移と世界の高齢化率の推移
- ・「感染症新法」とその内容（1999年）
- ・同時多発テロ、SARSの流行と感染症法改正（2003年）
- ・国際保健法大改正とその概要（2005年）
- ・日本における新型インフルエンザとその対処体制（2009年）
- ・緊急事態宣言の要件と意味
- ・川崎市の新型インフルエンザ接種体制と接種訓練準備の課題
- ・感染症危機管理ブラインド訓練（2016年）
- ・川崎市における新型コロナワクチン接種訓練（2020年12月）
- ・川崎市新型インフルエンザ等行動計画に基づく医療体制整備について
- ・今後の課題

《質疑応答》

Q：現地での感染症情報をどのように入手していくかについて、WHOがネットワークを作っていかなければならないように考えるが、如何か。

A：IHR（International Health Regulations 国際保健規則）ができて、WHOの問い合わせに加盟国は回答し、WHOはその内容を公表できるようになっている。その点において、中東呼吸器症候群（MERS）やエボラウイルス感染症などに比べ、公表状況は以前より改善されていると思う。少なくとも今回の新型コロナウイルス感染症についての初期の動きは、評価されてもよいのではないかと思うが、情報が少なくじりじりした思いもあった。

Q: 川崎市住民の健康を守るという立場で考えた場合、病床把握等のシステムが有機的に連携し社会の中で最適化されるのが理想であると思う。感染症について、今後どのようにモニタリングしていくべきとお考えか。

A: プライバシー情報に関わる人権問題に留意しつつも、感染症対策として一定のシステムは必要と思う。急場でこしらえるのではなく、各自治体に共通性のあるシステムを、平時の段階から考えておいて頂きたい。

Q: 2009年の新型インフルエンザの時に総括や提案が行われたのにもかかわらず、それが上手く活かされなかった原因は何だとお考えか。

A: 総括し、提案されたが、それが実行されているかについての評価をしなかった点、さらに数年ごとに次の計画に向け見直すシステムがなかったのが大きな原因と思う。

Q: コロナ前に実施した訓練は川崎市でしかできなかったのか。原子力災害病院では毎年訓練を行っているが、新型コロナウイルス感染症を災害と捉えて拠点を作り、訓練を行うことも必要ではないか。

A: ブラインド訓練というような訓練を実施したのは川崎市のみではないだろうか。訓練のシナリオを作るためには相応の経験と人材が必要で、また役所や保健所、医療機関の積極的な協力が必要である。感染症の拠点病院だけではなく、患者を最初に診る中小規模の医療機関の協力が不可欠なので、医師会の先生方にも訓練に参加いただいた。全国規模の訓練を実施するには、人材を育てそれを定着させていく必要があるだろう。

——— 以上 ———